

多様な価値観が集まるキャンパスの実現

Higher Education for All

—短期大学の機能の再構築—

中央教育審議会大学分科会

高等教育の在り方に関する特別部会

令和6年5月31日(金)

国際学院埼玉短期大学 理事長 学長 大野博之

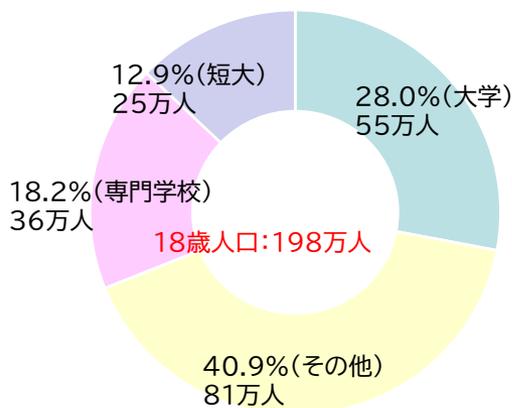
発表内容

- 短期大学への進学状況等
18歳人口に占める高等教育機関進学者割合
- 「短期大学の今後の在り方について」(審議まとめ)
〔中央教育審議会短期大学WG(平成26年8月6日)〕
- 多様な価値観が集まるキャンパスの実現
 - 編入学推進の必要性と実現に向けた方策
- まとめ

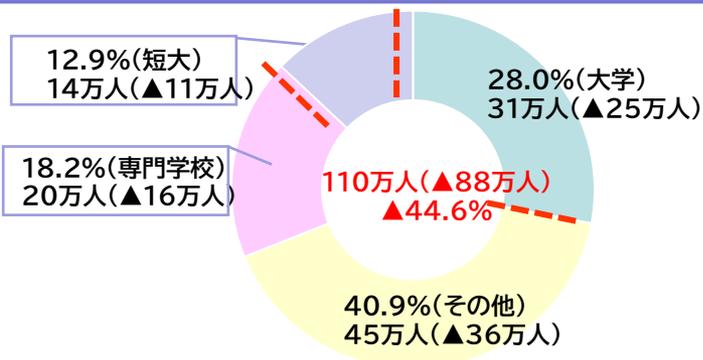
18歳人口に占める高等教育機関進学者割合

- 約30年前と比較すると18歳人口は▲44.6% (88万人減)
- 短大進学者割合が大きく減退。一方、大学進学者割合は6割に達しようとしている

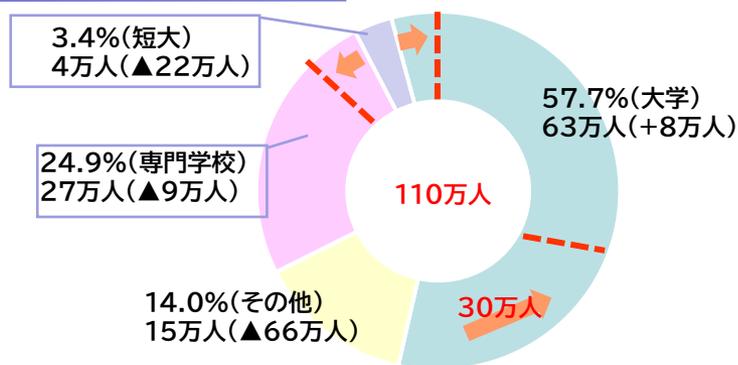
1 平成5(1993)年度の割合



2 令和5(2023)年度の割合(平成5年度と同割合だった場合)



3 令和5(2023)年度の実際の割合



平成5 (1993)	令和5 (2023) H5年度同割合	令和5 (2023) 実際の割合
【短大】 12.9% 25万人	【短大】 12.9% 14万人(▲11万人)	【短大】 3.4% 4万人(▲22万人)

※修学支援新制度 給付型奨学金支給終了(予定者)へのアンケート調査(短大の有意性)

※全国学生調査結果(短大の有意性)vs 高校の進路指導・修学支援新制度・入試時期

「短期大学の今後の在り方について」(審議まとめ)の概要(1/2)

中央教育審議会短期大学ワーキンググループ(平成26年8月6日)

【我が国の短期大学の特長】

- ・**学位が取得できる短期高等教育機関**
→「短期大学士」の取得と次の段階の高等教育に接続が可能な制度であること
- ・**教養教育と専門教育のバランスの取れた高等教育機関**
→教養科目と専門科目を体系的に編成した教育課程を展開していること
- ・**職業能力を育成する高等教育機関**
→職業資格の取得と教養に裏打ちされた汎用的職業能力を育成していること
- ・**小規模できめ細かい教育を行う高等教育機関**
→少人数教育、担任制度など特色ある学生指導を実施していること
- ・**アクセスしやすい身近な高等教育機関**
→地域コミュニティに密着し、地元との関連性が強い教育研究活動等を行っていること
- ・**教育の質が保証された高等教育機関**
→国の設置認可と認証評価制度が導入されていること

【課題】

- ・学生・社会のニーズを踏まえた検討の必要性
- ・**短期大学の位置付けの明確化**
- ・産業界・自治体と連携した地域コミュニティの中核機能の確立
- ・学生に対する支援の充実
- ・**短期大学の教職員の資質と能力の向上**

【短期大学における当面の機能別振興方策】

○短期大学の特長的な教育機能をより伸長させ、我が国の高等教育機関としての位置付けを再構築するため、短期大学自らが改革に取り組むとともに、国はそれぞれの短期大学の特色に応じた**機能別分化を推進**。

「短期大学の今後の在り方について」(審議まとめ)の概要(2/2)

・職業人としての汎用的な能力として必要となる豊かな教養的素養を持つ、幼稚園教諭、保育士、看護師、栄養士、介護人材等の養成機能の充実

①専門職業人材の養成機能

②地域コミュニティの基盤となる人材養成機能

・金融、商業、ビジネススキル、情報、被服、芸術などの専門知識・技能と幅広い教養を併せ持つ地域コミュニティの基盤となる人材の養成機能の充実

機能別
分化

・短期大学の特色を生かした教養教育と専門教育の提供による知識基盤社会に対応した人材養成機能の充実

③知識基盤社会に対応した教養的素養を有する人材養成機能

④多様な生涯学習機会の提供

・資格取得やキャリアアップを目指す社会人や、再就職を目指す有資格者に対する学び直しプログラムや、地域のニーズに対応した生涯学習プログラムの実施

必要な基盤経費を確保しつつ、**自ら機能を選択**し、社会的要請に応える
先導的な取組を行う短期大学について国による支援

①産業界・自治体等と連携して専門職業人材を地域に輩出する短期大学の支援

→人材養成ニーズに的確に対応した人材養成機能の整備を支援

②地方創生のリード役となる短期大学の支援

→地方創生・地域活性化に直結する教育研究や地域貢献活動、専攻科等の非学位課程も積極的に活用した生涯学習事業の立ち上げを支援

③大学に進学することを前提としたファーストステージ教育を行う短期大学の支援

→短期大学の特色を生かした高等教育の「ファーストステージ」としてのモデルとなる機能を構築する取組を支援

地方の創生・女性の活躍
高等教育の機会均等の確保

多様な価値観が集まるキャンパスを実現するため 編入学推進の必要性

【現状】

- ・高校卒業後、大学進学 or 就職前の職業スキル修得 or 就職等の進路選択
- ・大学進学に際しては、選抜性の高い大学を中心に画一的なシステムの下で進学準備

【推進の必要性】

1. 多様な価値観が集まるキャンパスの実現

⇒多様な学修歴・多様な背景を有する学生を確保

2. 単線型の進路選択を複線化に

⇒画一的な進学システムに参加しない、あるいはその種のシステムから離脱した者に対し、短期大学2年間の学修後、4年制大学への編入・就職等の選択肢を確保することで、単線型の進路選択を複線化

3. 大学入試の準備に高校生活のエネルギーを過度に振り向けない

⇒高校までの探求的な学習や課外活動に注力が可能

4. 学修者本位の教育への転換を加速

⇒編入学に2年間の学修成果を評価する

5. 経済的に優しい編入学

⇒県外の大学に4年間通学が難しい事情があっても、2年自宅通学・2年下宿なら可能というニーズへの対応
※選抜の準備のために多額の出費も不要に

多様な価値観が集まるキャンパスを実現するため②

▽大学と短大との連携教育課程による教育コンテンツの多様化・充実化

【連携教育課程を編成】

- ・単独の規模では提供できない学修目標の幅広さと水準の実現
- ・成績の評価基準を共有化することで編入学後の学修への適応をシームレス化
- ・特例制度の活用(連携開設科目上限の緩和、メディア上限の緩和、単位互換の緩和等)

▽2年課程の成績で編入学の可否を判定

- ・短大と連携して教育課程を実施する場合は、編入学先の編入学定員を弾力的に設定可
- ・共同教育課程や編入学先大学の科目を履修した者のみに編入学定員を割り振ることを可能とする

○連携教育課程等修了者のための編入学定員超過・未充足は基盤的経費の算定に影響させない

- ・カリキュラムの準備 ・大学リソースの提供に係る追加的負担
- ・遠距離連携の場合の追加的負担等への支援

○編入学定員の設定は弾力的に認可

- ・編入学時の入学金の課題 ・修学支援新制度の継続活用は堅持

○所定の成績基準を満たし、希望する者の編入学は基本認める

- ・連携教育課程を編成しない場合でもカリキュラム編成へのコミットメントと一部科目の提供
- ・履修状況とその成績で編入学許可の可否を判定

▽実現に向けた環境整備

- ・連携教育課程の質保証(設置認可申請と地域総合科学科の活用)
- ・高等教育の修学支援新制度の機関要件の再検討(定員充足率等)

まとめ

▽高等教育の目指すべき姿(我が国の「知の総和」の維持・向上)

⇒短期大学の「職業能力・専門能力」を育成する高等教育機関としての更なる発展

⇒『多様な価値観が集まるキャンパスを実現するための編入学の推進』をはかる

・短期大学の「大学編入プログラム機能」の強化(大学編入接続機能強化)

【学位の接続:短期大学士(準学士)⇒学士⇒修士⇒博士】

⇒『入学者選抜における多面的・総合的評価の促進』をはかる

・Open Admission + 入学後の手厚い学びの支援を提供

・学修成果のバラツキを解消するため大学と短期大学との**連携教育課程を開発**

・**質保証のための枠組みの設定**

▽Higher Education for All

・Higher Education for All の実現の為には多様な学生が学ぶ設計が必要

・日本に居住する外国人の教育(大学教育・職業訓練・成人教育・生涯教育等で分類)

・高等教育機関の役割分担は、機能別に整理し、役割分担と責任を明確に示すべき
(大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の情報公表・認証評価・入学者選抜等)

⇒文部科学省内に**高等教育振興室(仮称)を創設**

ex. 高等教育局**短期大学教育振興室(仮称)の創設**

ex. 総合教育政策局生涯学習推進課**専修学校教育振興室(既設)**

【参考】

- ・「短期大学の今後の在り方について」(審議まとめ)
中央教育審議会短期大学ワーキンググループ(平成26年8月6日)
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1351962.htm
- ・文部科学省全国学生調査
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/chousa/1421136.htm
- ・修学支援新制度 給付型奨学金支給終了(予定者)へのアンケート調査
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/1417033_00015.htm
- ・短期大学教育の改善等の状況に関する調査の概要
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/tandai/1312298.htm
- ・我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について
教育未来創造会議 第1次提言 教育未来創造会議
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/dai4/siryou1-2.pdf>
- ・経団連の提言「新しい時代に対応した大学教育改革の推進」2022年
<https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/003.html>
- ・短大クエスチョン—日本私立短期大学協会—
<https://tandai.jp/>